

豊中市立第一中学校 SE担当：

令和8年（2026年）9月14日（月）

研修テーマ

学習評価について
～授業っておもしろいよん！
学びが深まるポイント発見～

夏季研修週間最終日の8月28日（金）に、豊中市教育委員会学校教育課教育課程係の指導主事を講師にお招きし、学習評価に関する研修会を行いました。

【第1部】学習評価の基本的な考え方

学習評価に関する基本的な用語や考え方を確認するとともに、カリキュラム・マネジメントの一環としての「指導と評価」について考えました。評価を単に学習の成果を確認するためのものと捉えるのではなく、「Check」で行った評価を、その後の指導の改善（「Action」）に生かしていくことが大切を再認識しました。また、これまで慣行として行ってきたことについても、「教師の指導改善」や「児童生徒の学習改善」につながっているかという視点から見直すことの重要性について、共通理解を図りました。



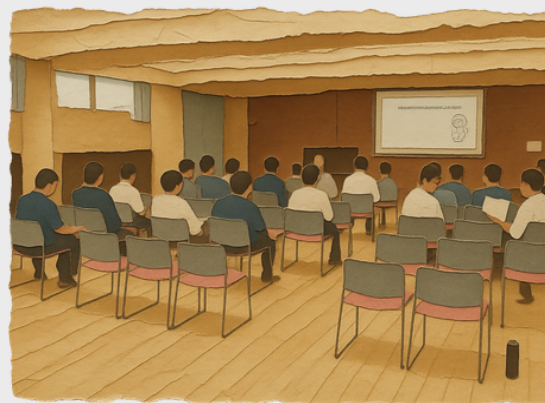
【第3部】実際の単元で評価を考えよう

1部と2部を踏まえて実際の単元から評価を考えるグループワークを行いました。

今回の研修を通して、学習評価は生徒の学習状況を確認するだけでなく、その後の指導の改善や生徒自身の学習の改善につなげることが大切だと学びました。また、「何を学ぶか」だけでなく、「何のために学ぶのか」「どのように学ぶのか」という視点を持ち、授業づくりと評価を一体的に考えることの重要性を改めて感じました。実践ワークを通して、評価規準や評価方法を事前に検討することの大切さも具体的に考えることができました。今回の学びを今後の授業づくりに生かしていきたいと思います。

【第2部】学習評価と授業づくり

「何を学ぶか」だけでなく、「何のために学ぶのか」「どのように学ぶのか」という視点を大切に、社会に出てからも生かせる学びにつなげていくことを確認しました。そして評価規準や評価方法を教師間で事前に検討・明確化し、教科会などの校内組織を活用して、評価の実践事例を蓄積・共有するなど、組織的・計画的な取組の大切さを学びました。



講師紹介参考著書一覧

『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価「見方・考え方」をどう育てるか』 西岡加名恵・石井英真 編著

『授業づくりの深め方「よい授業」をデザインするための5つのツボ』 石井英真 著

『今求められる学力と学び』 石井英真 著